

国際バカロレア入試についての研修

1. 本学での研修内容

本学において、他大学からの研修者を対象に、国際バカロレア入試の実施状況および今後の課題、国際バカロレア入試で入学した学生への教育についての説明を行った。

本学への研修者については以下の表の通りである。

日付	大学	職名	氏名
平成 26 年 10 月 9 日 (木)	北海道大学	高等教育推進機構 教授	鈴木 誠
〃	〃	高等教育推進機構 准教授	飯田 直弘
平成 26 年 11 月 27 日 (木)	横浜国立大学	学務・国際部入試副課長	高橋 賢次
〃	〃	学務・国際部入試第三係長	真畑 健
〃	〃	経営学部経営学務係員	中兼 優介
〃	〃	理工学部入試係員	植田 紅良
平成 27 年 1 月 9 日 (金)	鹿児島大学	准教授	竹内 正興

2. 講演会

平成 27 年 3 月 5 日 (木) 13:30~16:30 に東京グランドホテルで開催された公立大学協会第 3 回副学長等協議会にて、講演を行った。本学からの講演者および内容については以下の通りである。

講演者：岡山大学 アドミッションセンター 准教授 上田 一郎

テーマ：岡山大学における入試改革について

3. 他大学から本学の国際バカロレア入試（AO入試）に関するアンケート調査

Q1. 選抜の時期と合格発表の時期が非常に早く感じられますが、この時期に実施している理由等がありますでしょうか。

A. 海外、特に欧州のIB校は卒業時期が6月のため4月入学入試の募集時期を国内の募集時期の早いAO入試で8月1日に設定しています。

Q2. 選抜に際しては、各学部が個別に審査を行うのでしょうか。あるいは各学部等から選出された、あるいは入学者選抜部門等所属教員などの合議形式による選抜でしょうか。

A. 各学部で教授会に諮って決定し、その後アドミッションセンター運営委員会で承認

しています。

- Q3. 書類審査の実施にあたり、何らかの選抜基準を作成されていますでしょうか。
- A. 各学部の判断となります。
- Q4. 選抜基準を作成されている場合、学部共通の基準でしょうか。あるいは 学部等の独自選考基準でしょうか。
- A. 各学部の判断となります。
- Q5. 選抜の書類審査を行う上でIBの成績評価証明書が必要ですが、選抜を行う時点では提出できない者として11月IB受験予定者は、具体的にどのように判定されていますでしょうか。（学校から提出される予測点数を判定に活用？）
- A. 制度導入当時は、成績評価証明書を提出出来る者と言うことで、既に卒業した者を対象としておりましたが、昨年度、出願資格を見込み証明（予測点による）でも出願出来るように改善しました。
- Q6. 6科目の総合成績は、何点程度を合格基準とされていますでしょうか。
- A. 現在はIBフルディプロマを取得出来る最低点24点以上としております。
- Q7. 一般的には時間をかけた丁寧な面接と言われておりますが、面接にかける所要時間は1名あたりどのくらいで実施していますでしょうか。
- A. 実施学部の判断によります。
- Q8. 最も早い合格発表は8月下旬ですが、入学までの間に何らかの課題を与えるなど事前教育の取り組みは行われていますでしょうか。されている場合は、どんな課題を与えていますでしょうか。
- A. 課題では無く科目履修の制度を利用しています。
- Q9. 志願者の日本人・外国人の割合は
- A. 本学の場合は日本人学生が100%です。
- Q10. 当初の広報活動はどのようなことをされましたでしょうか
- A. WebでIB校を探し、担当者とのアポイントメントを取り現地へ赴き大学説明をさせて貰うなど、足を運んで今の志願者数を確保しています。